



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 朝日印刷株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3951 URL <https://www.asahi-pp.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝日 重紀  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 広田 敏幸 TEL 076-421-1177  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	11,260	1.7	499	△35.8	707	△17.1	442	△26.8
2025年3月期第1四半期	11,067	6.3	777	5.7	853	6.9	604	△5.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 61百万円 (△91.4%) 2025年3月期第1四半期 721百万円 (7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	20.84	—
2025年3月期第1四半期	28.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	68,487	35,206	49.6	1,599.00
2025年3月期	70,462	35,572	48.6	1,613.86

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 33,957百万円 2025年3月期 34,274百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	18.00	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.4	2,250	8.4	2,260	4.4	1,800	5.6	84.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	22,890,829株	2025年3月期	22,890,829株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,654,282株	2025年3月期	1,653,082株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	21,237,072株	2025年3月期1Q	21,282,044株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源・原材料価格の高止まりや物価上昇に加え、米国の政策動向、金融資本市場の変動、地政学的リスクの長期化など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、2024年度を最終年度としていた中期経営計画を1年間延長し、引き続き「市場深耕拡大」「付加価値最大化」「ワークエンゲージメント」「海外事業推進」「経営資源活用」の5つの事業戦略を推進し、各施策の完遂による事業基盤の強化と収益性の改善を図り、企業価値の向上ならびに持続的成長に向け取り組んでまいりました。

#### (経営成績)

当社グループの当第1四半期連結累計期間は、各事業において、概ね期初予想通りの受注状況で推移いたしました。売上高は、包装システム販売事業の好調により、前第1四半期連結累計期間に比べ1億92百万円増（前年同期比1.7%増）の112億60百万円となりました。一方で、印刷包材事業における受注の減少及び原材料をはじめとした物価高の影響により、営業利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ2億78百万円減（前年同期比35.8%減）の4億99百万円、経常利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億45百万円減（前年同期比17.1%減）の7億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億62百万円減（前年同期比26.8%減）の4億42百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### 印刷包材事業

当社グループの主たる事業である印刷包材事業におきましては、国内では、医薬品向け製品及び化粧品向け製品ともに堅調な受注状況でありました。しかしながら、原材料をはじめとする仕入価格の上昇、賃上げや工場再編による減価償却費の増加に伴う固定費の増加により製造原価は上昇し、セグメント利益は前第1四半期連結累計期間に比べマイナスとなりました。

国外では、前年好調であった中国向け製品受注が減少し、売上高及びセグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べマイナスとなりました。

結果、当セグメントにおいては、減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間における印刷包材事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ66百万円減（前年同期比0.7%減）の101億円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億98百万円減（前年同期比7.8%減）の23億47百万円となりました。

#### 包装システム販売事業

当セグメントでは、印刷包材とそれを包装する機械の提案を行っております。さらに包装機械だけにとどまらず、その前工程である充填機械を含めたトータル提案販売活動も行っており、大型案件の受注も増加しております。

包装システム販売事業におきましては、堅調な受注推移により増収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における包装システム販売事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ2億59百万円増（前年同期比33.8%増）の10億29百万円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ32百万円増（前年同期比26.9%増）の1億52百万円となりました。

#### その他

##### 人材派遣事業

当セグメントでは、当社グループのみならず地域企業からの求人を受けて人材の派遣を行っております。

当第1四半期連結累計期間における人材派遣事業の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べ1百万円減（前年同期比0.8%減）の1億30百万円となりました。

セグメント利益は、前第1四半期連結累計期間に比べ1百万円増（前年同期比3.8%増）の33百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、684億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億75百万円減少いたしました。

その内、流動資産は、280億77百万円と、前連結会計年度末に比べ15億1百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。また固定資産は、404億10百万円と、前連結会計年度末に比べ4億74百万円減少いたしました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、332億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億10百万円減少いたしました。

その内、流動負債は、134億62百万円と、前連結会計年度末に比べ9億57百万円減少いたしました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。また固定負債は、198億18百万円と、前連結会計年度末に比べ6億53百万円減少いたしました。その主な要因は、役員退職慰労引当金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は352億6百万円と、前連結会計年度末に比べ3億65百万円減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,271	8,071
受取手形	535	489
電子記録債権	4,537	5,307
売掛金	9,832	9,590
有価証券	14	12
商品及び製品	1,167	1,183
仕掛品	1,179	1,160
原材料及び貯蔵品	1,173	1,222
その他	866	1,038
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,578	28,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,852	10,715
機械装置及び運搬具(純額)	6,938	6,710
土地	10,071	10,051
リース資産(純額)	2,645	2,531
建設仮勘定	1,068	1,146
その他(純額)	870	855
有形固定資産合計	32,447	32,011
無形固定資産		
のれん	1,293	1,193
その他	1,126	1,087
無形固定資産合計	2,420	2,280
投資その他の資産		
投資有価証券	4,615	4,810
長期貸付金	75	75
繰延税金資産	301	224
投資不動産(純額)	714	704
その他	324	312
貸倒引当金	△13	△10
投資その他の資産合計	6,017	6,117
固定資産合計	40,884	40,410
資産合計	70,462	68,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	3	3
電子記録債務	5,111	5,329
買掛金	1,947	1,777
短期借入金	99	121
1年内返済予定の長期借入金	3,302	1,302
リース債務	514	492
未払金	1,162	1,559
未払法人税等	383	178
賞与引当金	711	385
その他	1,182	2,312
流動負債合計	14,419	13,462
固定負債		
社債	3,500	3,500
長期借入金	11,773	11,702
リース債務	2,346	2,248
繰延税金負債	500	481
役員退職慰労引当金	664	221
役員株式給付引当金	39	26
退職給付に係る負債	1,297	1,321
その他	350	317
固定負債合計	20,471	19,818
負債合計	34,890	33,280
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,228	2,228
資本剰余金	2,307	2,307
利益剰余金	29,324	29,342
自己株式	△1,581	△1,583
株主資本合計	32,278	32,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,363	1,401
為替換算調整勘定	557	185
退職給付に係る調整累計額	74	74
その他の包括利益累計額合計	1,995	1,661
非支配株主持分	1,297	1,249
純資産合計	35,572	35,206
負債純資産合計	70,462	68,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,067	11,260
売上原価	8,368	8,726
売上総利益	2,698	2,533
販売費及び一般管理費	1,920	2,034
営業利益	777	499
営業外収益		
受取利息	4	13
受取配当金	55	59
受取賃貸料	37	40
保険解約返戻金	-	142
雑収入	61	45
営業外収益合計	158	301
営業外費用		
支払利息	34	51
支払手数料	1	0
賃貸収入原価	34	31
雑損失	13	10
営業外費用合計	83	93
経常利益	853	707
特別利益		
投資有価証券売却益	45	45
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	48	47
特別損失		
固定資産除売却損	2	0
投資有価証券評価損	-	9
災害による損失	11	-
役員退職慰労金	-	84
特別損失合計	14	94
税金等調整前四半期純利益	888	659
法人税、住民税及び事業税	371	162
法人税等調整額	△107	54
法人税等合計	264	217
四半期純利益	623	442
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	604	442

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	623	442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	37
為替換算調整勘定	176	△418
退職給付に係る調整額	2	△0
その他の包括利益合計	98	△380
四半期包括利益	721	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	108
非支配株主に係る四半期包括利益	47	△46

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	691百万円	749百万円
のれん償却額	34	37

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷包材 事業	包装シス テム販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,166	769	10,935	131	11,067	—	11,067
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	46	46	△46	—
計	10,166	769	10,935	178	11,114	△46	11,067
セグメント利益	2,546	120	2,666	32	2,698	—	2,698

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材派遣事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

4. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,666
「その他」の区分の利益	32
調整額(セグメント間取引消去)	—
販売費及び一般管理費	△1,920
四半期連結損益計算書の営業利益	777

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷包材 事業	包装シス テム販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,100	1,029	11,129	130	11,260	—	11,260
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	52	52	△52	—
計	10,100	1,029	11,129	183	11,313	△52	11,260
セグメント利益	2,347	152	2,500	33	2,533	—	2,533

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材派遣事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

4. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,500
「その他」の区分の利益	33
調整額(セグメント間取引消去)	—
販売費及び一般管理費	△2,034
四半期連結損益計算書の営業利益	499

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2025年7月22日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上、株主還元の実現を図るためであります。

(2) 取得に係る事項の内容

- ①取得する株式の種類 : 当社普通株式
- ②取得する株式の総数 : 570,000株 (上限)  
: (発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合2.68%)
- ③株式の取得価額の総額 : 500百万円 (上限)
- ④取得期間 : 2025年7月23日～2026年3月31日
- ⑤取得方法 : 東京証券取引所における市場買付